

Pulse Oximetry, 1972

Pulse oximetry, a non-invasive technique to measure blood oxygen saturation continuously and immediately without a blood sample, was introduced in 1972 by Takuo Aoyagi of Nihon Kohden Corporation. The company launched its OLV-5100 as the first ear pulse oximeter in 1975. Subsequent developments by others made pulse oximeters a reliable and affordable standard of care in hospitals, clinics, and homes.

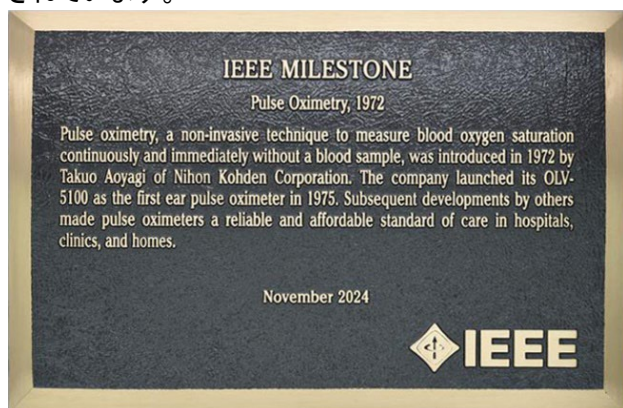
November, 2024

パルスオキシメトリ、1972年

パルスオキシメータは、動脈血中の酸素飽和度 SpO₂(ヘモグロビンがどの程度酸素と結びついているか)を採血せずに非侵襲かつ連続的に測定する技術で、1972年に日本光電の青柳卓雄氏によって原理が発見された。日本光電は1975年に世界初のイヤオキシメータ OLV-5100を発売した。その後、他社による開発も進められ、パルスオキシメータは病院、診療所、在宅医療などの医療現場で欠かせない装置となった。

2024年11月

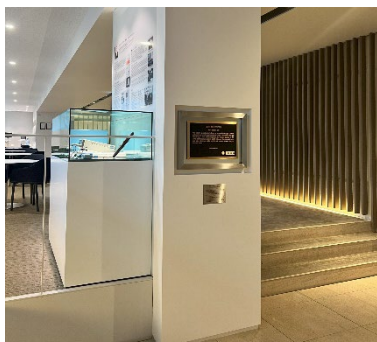
2024年11月14日、「パルスオキシメトリ」のIEEEマイルストーン贈呈式が、日本光電工業株式会社 本社(東京都新宿区)にて開催され、福田 敏男 IEEE 2020年会長より、日本光電工業株式会社 荻野 博一 代表取締役社長執行役員 CEO に、業績を記した銘板が贈呈されました。銘板は、日本光電工業株式会社 総合技術開発センタ(埼玉県所沢市)に展示されています。

**IEEE Milestone 銘板****銘板と記念撮影**

(左から) 福田 敏男 IEEE 2020年会長、日本光電工業株式会社 荻野 博一 代表取締役社長執行役員 CEO

IEEE Milestone 認定の経過:

- 2022年8月22日 Proposal Form 提出
- 2023年11月20日 Board of Directors 承認
- 2024年11月14日 贈呈式開催 (場所) 日本光電工業株式会社 本社(東京都新宿区)



銘板設置場所: 日本光電工業株式会社 総合技術開発センタ(埼玉県所沢市くすのき台 1-1-6)